

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2012年8月26日 聖日礼拝

---

### エペソ書連講 (23)

## 「賢く歩むとは」

エペソ書 5章15-21節

竿代照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### エペソ人への手紙5章15-21節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp347 / 第三版の聖書はp379

15 そういうわけですから、賢くない人の  
ようにではなく、賢い人のように歩んで  
いるかどうか、よくよく注意し、

16 機会を十分に生かして用いなさい。  
悪い時代だからです。

17 ですから、愚かにならないで、  
主のみこころは何であるかを、  
よく悟りなさい。

18 また、酒に酔ってははいけません。  
そこには放蕩があるからです。  
御霊に満たされなさい。

19 詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに  
語り、主に向かって、心から歌い、また  
賛美しなさい。

20 いつでも、すべてのことについて、私た  
ちの主イエス・キリストの名によって  
父なる神に感謝しなさい。

21 キリストを恐れ尊んで、互いに従いなさい。

# 説教

エペソ書連講 (23)

「賢く歩むとは」

エペソ 5章15-21節

竿代照夫 牧師



主テキスト：

「愚かにならないで、  
主のみこころは何であることを、  
よく悟りなさい。」

(エペソ 5 : 17)

[前回] : 光の子として歩む (8 - 1 4 節)

- ・ 命の源であり、真理を示す光なる

神の光を受け、

- ・ それを反射しながら歩む幸い

[今回] : 賢く歩むべきこと (15 - 21 節)

- 賢さ v s 愚かさ : 賢さとは神の御心を

良く弁えて、それに沿って歩む

- 注意深さ v s いい加減さ :

よくよく注意し」 (アクリボース) とは、

「正確に」という意味



# 1. 賢く時を使う（時を贖う）（16節）

- 「時を贖う」意味：  
「贖う（エクシアゴラゾー）」とは  
「買い上げる」
- 時を贖うべき理由：  
「悪い時代（サタンの手に陥って  
いる）」だから
- 時を贖う行動：神のために、  
神と共に過ごす

## 2. 神のみ心を悟る賢さ（17節）

- 一般的な意味で：み言葉の学びを通して
- 個別的な意味で：私心を離れ、祈り深く、  
考え深く道を決める

### 3. 聖霊に満たされる生涯（18節）： 霊的賢さの極致

- 酔酒と対比：酒に勝る喜びを与える聖霊
- 受身：明け渡しの結果
- 継続的な経験：「満たされ続けなさい」とは、  
満たされる条件を果たし続け、  
聖霊と共に歩むこと
- 全てのクリスチャンに期待：  
人間本来の姿に戻ること

## 4. 賛美にあふれる生涯 (19節)

- 聖霊の満たしの結果生まれる賛美：  
(使徒2：13)
- 賛美の種類：
  - ①節をつけて歌う詩篇
  - ②初代教会で用いられた讚美歌
  - ③自然にわき上がるコーラス
- 主に向かい、そして、互いに

## 5. 全てのことを感謝する生涯 (20節)

- いつでも：環境が良い時も悪い時も
- すべてのことについて：  
喜ばしいと思えない出来事についても
- キリストの名で
- 父なる神に対して

## 6. 互いに思い遣る生涯 (21節)

- ・ キリストに従う心をもって互いに従う
- ・ 家族関係の基礎

終わりに：

私たちも「賢く」歩もう